

報道関係者各位

2025年2月12日(水)

株式会社GA technologies

イタンジ、SaaSからオープンプラットフォームへの変革、
AIとデータ活用で、累計利用社数10,000社を目指す

「すべての人の不動産インフラ」実現に向けたテクノロジー戦略を策定

株式会社GA technologies [GAテクノロジーズ]（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：樋口 龍、証券コード：3491、以下「当社」）のグループ会社である、テクノロジーで不動産取引をなめらかにするイタンジ株式会社（以下「イタンジ」）は、「すべての人の不動産インフラ」の実現に向け、テクノロジー戦略（以下「本戦略」）を策定しました。本戦略では、イタンジおよびグループ会社が保有するアセットを最大限に活用し、これまでのSaaSの枠を超えた様々な関連事業者が利用・連携できるオープンプラットフォームの構築を目指します。これにより、より多くの人々に価値を提供し、不動産業界全体のオープン化・省力化・高度化を推進することで、イタンジおよびグループ会社が提供するシステムの累計導入社数10,000社を目指します。



◆イタンジおよびグループ会社が持つアセット

1. 豊富な不動産取引データ

年間100万件を超える（※1）Web入居申込が行われている入居申込システムの成約データや賃貸不動産に関するリアルタイムの募集情報、グループ会社の株式会社マーキュリーが30年以上にわたり蓄積してきた不動産ビッグデータなど、業界でも独自性の高いデータを豊富に保有しています。

2. AI活用ノウハウ

当社は、不動産取引におけるAIやデータ活用を中心に研究開発を行う「AISC（Advanced Innovation Strategy Center）」と呼ばれるチームを擁しています。機械学習やデータ解析の分野で高度な技術を保有しており、その技術を不動産関連業務の効率化や高度化のため活用しています。

3. 拡張性・連動性の高いシステムアーキテクチャ

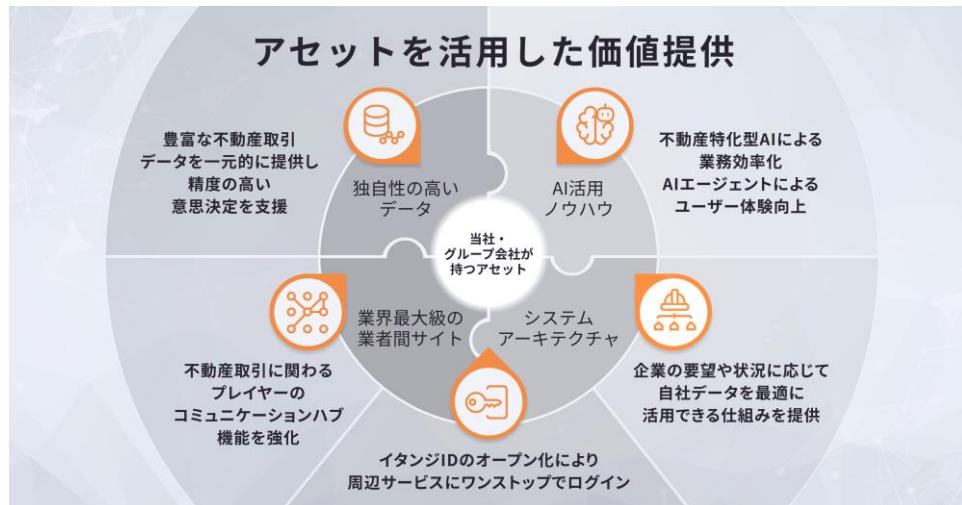
イタンジのシステムは、高い拡張性と連動性を備えたアーキテクチャを採用しています。それにより、イタンジアカウントを活用した他社サービスとの連携が可能です。また、データと業務フローを疎結合（独立性の高い状態）にすることで、柔軟なデータ活用を実現します。さらに、ストリーミング技術を導入することで、リアルタイムなデータ連携を実現し、迅速かつ正確な情報共有を可能にしています。

4. 業界最大級の業者間サイト

イタンジは、1都3県の賃貸不動産仲介会社（以下「仲介会社」）が物件情報収集時に利用するツールとして、国土交通大臣が指定した不動産流通機構が運営する「レインズ」に次いで活用（※2）されているリアルタイム不動産業者間サイト「ITANDI BB」を運営し、累計約90,000店舗の仲介店舗が利用しています。この広範なネットワークは不動産取引におけるコミュニケーションハブとして機能しています。

◆アセットを活用した価値提供

イタンジはこれらのアセットを活用し、エンドユーザーおよび不動産会社のなめらかな取引体験と業務体験を実現するため、下記の通り取り組んでまいります。



1. データを活用した意思決定支援と総合的なデータの提供

独自性のあるデータを活用し、不動産業務におけるさまざまな意思決定を支援します。たとえば、賃貸不動産の募集データ・成約データや、グループ会社の不動産ビッグデータなど、不動産実務に有益な情報を一元的に提供することで、不動産会社の業務負荷を軽減しつつ、より精度の高い意思決定を支援します。

2. AIによる業務効率化、AIエージェント機能の提供

不動産に特化したAI技術を導入することで、契約手続きや書類作成・管理などの定型業務を効率化し、不動産会社がより付加価値の高い業務に専念できる環境を整えます。また、他業界で既に普及しつつあるAIエージェントを導入することで、顧客対応や物件検索などを自動化し、エンドユーザー及び仲介会社の取引体験をさらに向上させます。

3. 要望・状況に応じた最適なデータ利活用

柔軟なシステムアーキテクチャを活かして、クライアント向けのデータウェアハウスを構築したり、必要なデータを即座に反映したりするなど、企業ごとの要望や状況に応じてデータを最適に利活用できる仕組みを整えます。これにより、それぞれの要望に応じた分析の実施やサービス展開を実現し、新たな付加価値の創出をサポートします。

4. 不動産会社と周辺領域のコミュニケーションハブへ

「ITANDI BB」の広範なネットワークを活かし、保険会社や保証会社、ライフライン関連企業とのデータや手続きの連携を可能にすることで、不動産取引に関わるさまざまな領域の事業者をつなぐコミュニケーションハブとしての役割を強化します。また、このネットワークを様々な企業が利用できるようにオープンプラットフォーム化し、他業種の企業を含め多様な関連事業者が利用・連携できる環境を提供することで、業務効率化と更なる価値創造を目指します。

5. オープンIDによりシームレスなサードパーティシステム利用を可能に

イタンジのIDをオープン化することで、イタンジサービスの同じアカウントでさまざまな周辺サービスにログインし、シームレスに利用できるようになります。それにより、エンドユーザーの利便性向上、アカウントの一元管理を実現します。

イタンジでは、上記を始めとするテクノロジーを活用した取り組みによって、より多くの人々に価値を提供し、不動産業界全体のオープン化・省力化・高度化を推進するとともに、これまでのSaaS提供にとどまらず、不動産業界に限らず様々な関係事業者がシームレスに連携できるオープンプラットフォーム化を実現します。これによりイタンジは、イタンジおよびグループ会社が提供するシステムの累計導入社数10,000社を目指して尽力してまいります。

(※1) 対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

(※2) 出典：リーシング・マネジメント・コンサルティング株式会社「引越しシーズンから探る賃貸住宅不動産市場の最新ニーズと傾向2024」

https://lmc-c.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/08/lmc_release_20240821.pdf

◆イタンジ概要

社名：イタンジ株式会社

代表者：代表取締役 社長執行役員 CEO 永嶋 章弘

URL：<https://www.itandi.co.jp/>

本社：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー 42F

設立：2012年6月

事業内容：

- ・リアルタイム不動産業者間サイト「ITANDI BB（イタンジビービー）」の開発、運営
- ・不動産賃貸業務のDXサービス群「ITANDI BB+（イタンジビービープラス）」の開発、運営

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微です。

◆GAテクノロジーズ概要

株式会社GA technologies（ジーエーテクノロジーズ）は、「テクノロジー×イノベーションで、人々に感動を生む世界のトップ企業を創る。」を理念に掲げ、不動産をはじめ、さまざまな産業のビジネス変革に取り組むインダストリーテック企業です。2013年の創業から5年後の2018年に東証グロース市場（旧東証マザーズ市場）に上場。上場後に10件のM&Aを実施し、2022年度には売上高1,100億円を超える急成長を遂げています。2020年～2022年には、3年連続で「DX銘柄」に選出（グロース市場で唯一）されました。

社名：株式会社GA technologies

代表者：代表取締役 社長執行役員 CEO 樋口 龍

URL：<https://www.ga-tech.co.jp/>

本社：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー40F

設立：2013年3月

事業内容：

- ・AI不動産投資サービス「RENOSY」の開発・運営
- ・SaaS型のBtoB PropTechプロダクトの開発

主なグループ会社：イタンジ株式会社、株式会社神居秒算、株式会社スピカコンサルティング、RW OpCo, LLCなど計55社